

# 令和7年第4回江府町議会6月定例会(第2日)

令和7年6月3日 午前10時 開 議

## 議 事 日 程

日程第 1 町政に対する一般質問

質問者 川 端 登志一

### 1. 町民の生命、財産、日常生活を災害や有事から守ることは行政の使命である。日々の備えについて伺う。

- (1) 鳥取西部地震から25年、「災害は忘れたころにやってくる」震災や火災に遭遇した時の避難所や支援物資の備えは万全か。
- (2) この度の急激なコメ不足や価格の高騰も一種の有事あるいは災害と考えるべきである。災害時や非常事態用として飲食提供事業者や非農家、生活困窮者向けに一定量の備蓄米を確保してはどうか。
- (3) この度のコメ不足を機に全国的にコメの増産が進められると考えられるが、山間地域である町内農家や生産法人は生産コスト面で平野部に比べ不利である。県、国に対して一層の支援を要望するべきである。
- (4) 将来の有事に備え農地の維持に努めることは必然として、もっとも重要な水利の確保は農業の根幹をなすものである。特に山間部の山腹水路に関しては維持管理の面で安全容易な地中化を推進する法整備を県、国に強く要望すべきである。  
(二次的なメリットとして昨今多発する大規模な山林火災などにも緊急対応が期待できる)
- (5) また、町民にとっては戦争や事変ばかりが有事ではなく、国や県、町が行うあらゆる事業が有事や災害となりうる可能性がある。事業を行う場合は地元や関係者に前もって、丁寧な内容説明や理解を得ることに努め、無用な軋轢を防ぐことが肝要と考える。

事例：イ.旧役場跡地や廃小学校の利活用について

ロ.防災施設の新設時など

ハ.観光客増加に伴う地元民の不利益の解消について

## 1. 公共施設の方針及び計画について

- (1) 令和元年12月に「江府町公共施設等あり方委員会」より「江府町公共施設のあり方について（報告）」が提出された。12施設の検討結果により6年間で2施設（1 役場本庁舎、5 高齢者創作館）が廃止撤去された。残りの10施設のうち方針が継続、転用、集約、廃止すべきとなっている施設が4施設（2 山村開発センター 3 日輪閣 4 特産品加工施設 8 旧明倫小学校）あるが、これらの施設の今後の計画について伺う。

また今後、12施設以外の公共施設のあり方について、今後どのような手法で方針及び計画を策定されるのか伺う。

検討された12の施設

- 1 役場本庁舎 2 山村開発センター 3 日輪閣  
4 特産品加工施設 5 高齢者創作館 6 中電江尾研修施設  
7 特別教室（旧江府中学校横） 8 旧明倫小学校  
9 旧米沢小学校 10 旧米原小学校 11 子供の国保育園  
12 旧給食センター（江府小学校併設）

## 2. 奥大山スキー場及びエバーランド奥大山について

- (1) スキー場が休止されてから6年が経過しており、このまま放置すると自然環境と景観に影響を及ぼす可能性がある。奥大山スキー場及びエバーランド奥大山の今後の計画について伺う。